



令和3年10月期 第2四半期

# 決算補足資料

東証JASDAQ 証券コード3974

株式会社 ティビィシー・スキヤット

## Positive & Active : プラス思考で考え行動する

---

1. 決算ハイライト  
令和3年10月期 第2四半期 決算概要
2. 令和3年10月期 通期業績見通し
3. トピックス
4. 会社概要



# 決算ハイライト

---

令和3年10月期第2四半期決算概要

全社

**Withコロナでの営業活動。物販影響あり。各セグメントともストック系ビジネスの拡充が効果を発揮。テレワーク活用で固定コスト削減。利益増。コロナ禍の影響により、在宅型介護と外国人支援ビジネスは減収減益。**

売上高：1,236百万円 前期比 5.9%減  
営業利益：106百万円 前期比 31.5%増

美容サロン  
ICT

- ◆ システム販売（物販）：受注・納品の先延しによる売上減。
- ◆ Webコンテンツによる課金型ストックの拡充により利益増（Googleの予約連携サービス提供開始・楽天ポイント連携等）
- ◆ Webを活用したサポートや商談、イベントの自粛等による経費削減

売上高：684百万円 前期比 9.2%減  
営業利益：52百万円 前期比 32.5%増

ビジネス  
サービス

- ◆ コロナ禍対策：中小企業向け経営改善サポート提供による収益増
- ◆ 外国人技能実習生支援：海外からの入国制限による影響（収益減）

売上高：170百万円 前期比 2.3%増  
営業利益：19百万円 前期比 338.2%増

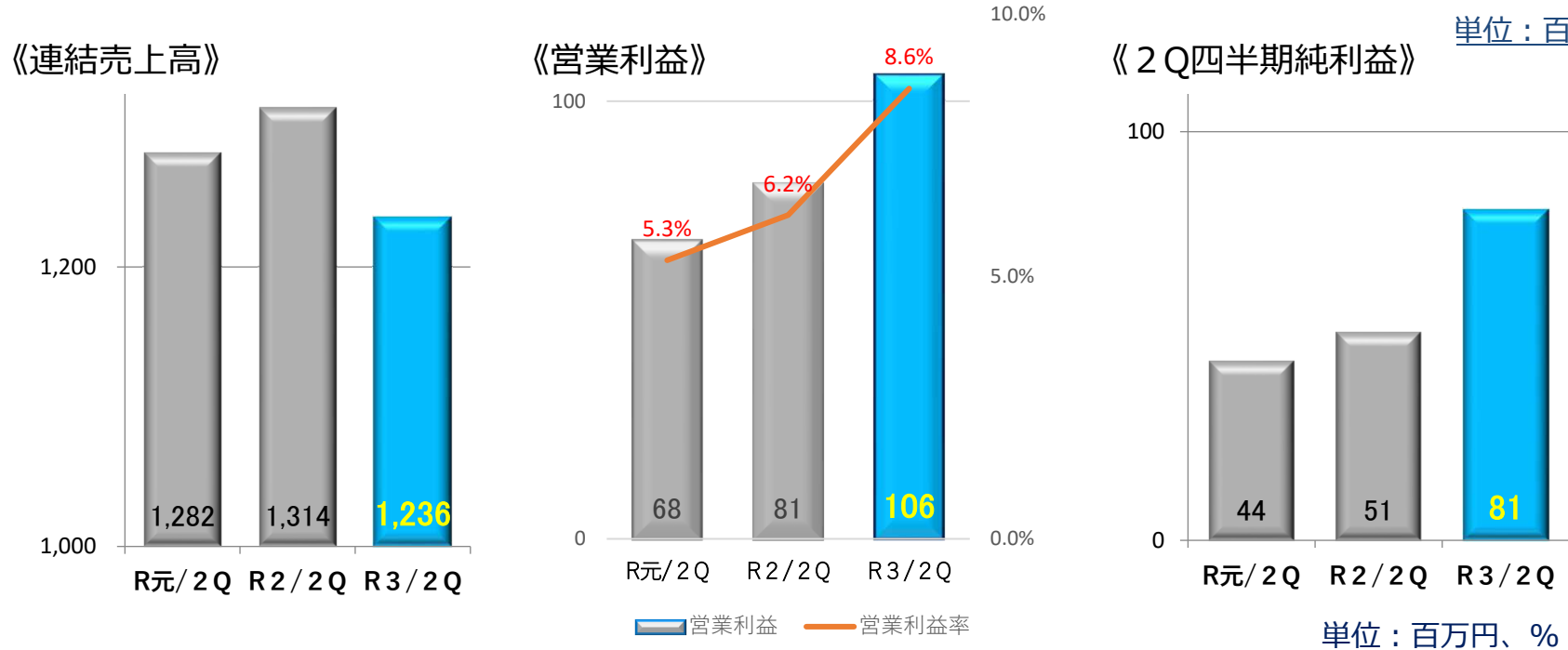
介護  
サービス

- ◆ 介護付き有料老人ホームの高い入居率維持（9割超）。
- ◆ コロナ感染防止、在宅型介護サービス等の利用控えにより減収減益。

売上高：371百万円 前期比 2.9%減  
営業利益：27百万円 前期比 5.8%減



# 第2四半期連結決算の概要（損益計算書）



	R元/10期 第2四半期	R2/10期 第2四半期	R3/10期 第2四半期	増減率
売上高	1,282	1,314	1,236	△5.9%
売上原価	743	771	709	
売上総利益	538	542	527	△2.8%
(売上総利益率)	42.0%	41.3%	42.7%	
販管費	470	461	420	
営業利益	68	81	106	31.5%
(営業利益率)	5.3%	6.2%	8.6%	
経常利益	68	83	106	28.8%
(経常利益率)	5.4%	6.3%	8.6%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	44	51	81	60.1%

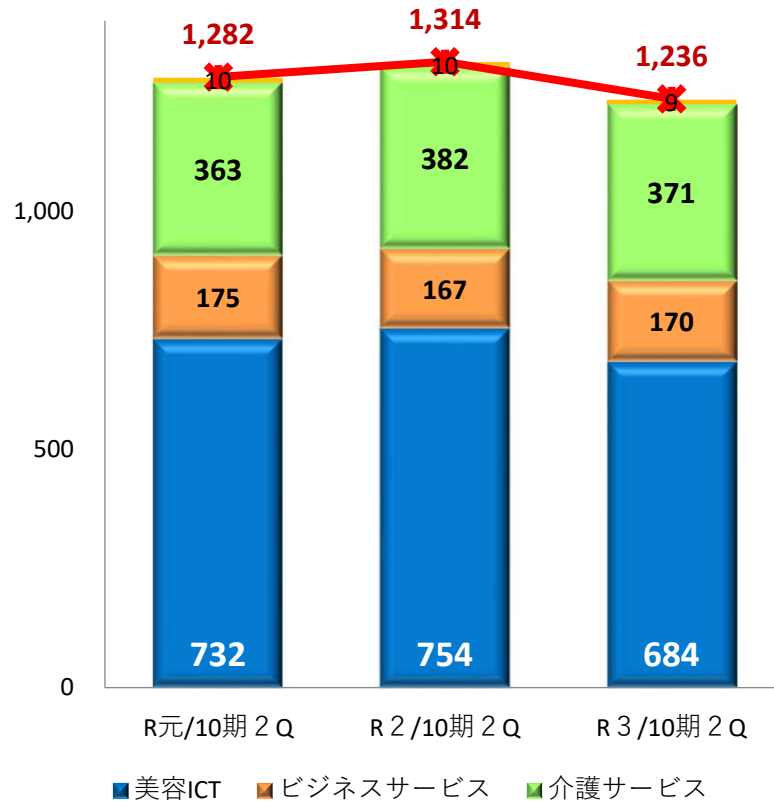
単位：百万円、%

# セグメント別損益推移



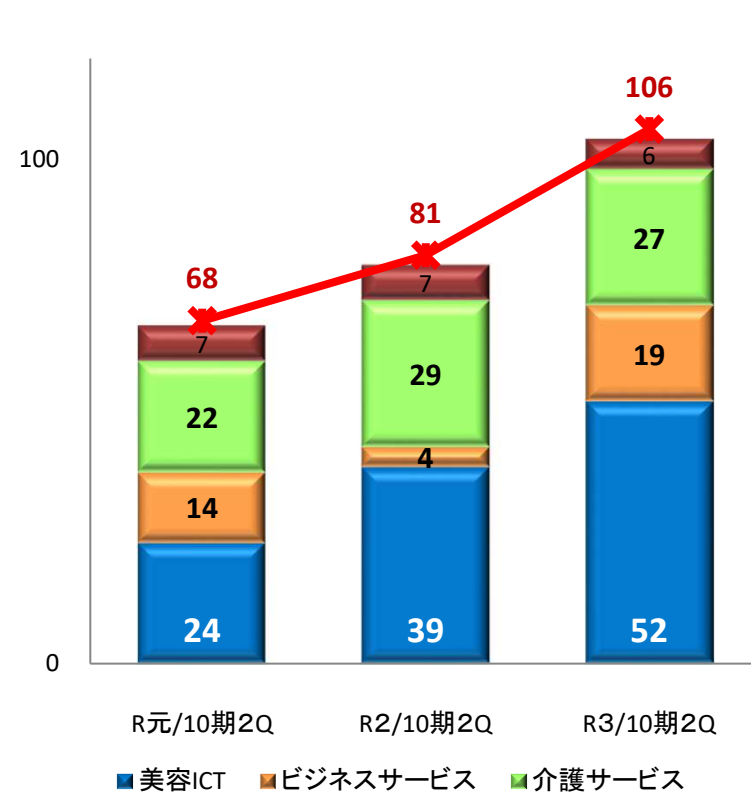
《セグメント売上高》

単位：百万円



《セグメント営業利益》

単位：百万円



単位：百万円

	R元/10期 2Q実績	R2/10期 2Q実績	R3/10期 2Q実績	前期 増減率
美容ICT	732	754	684	△9.2%
ビジネスサービス	175	167	170	2.3%
介護サービス	363	382	371	△2.9%
その他	10	10	9	-
	1,282	1,314	1,236	△5.9%

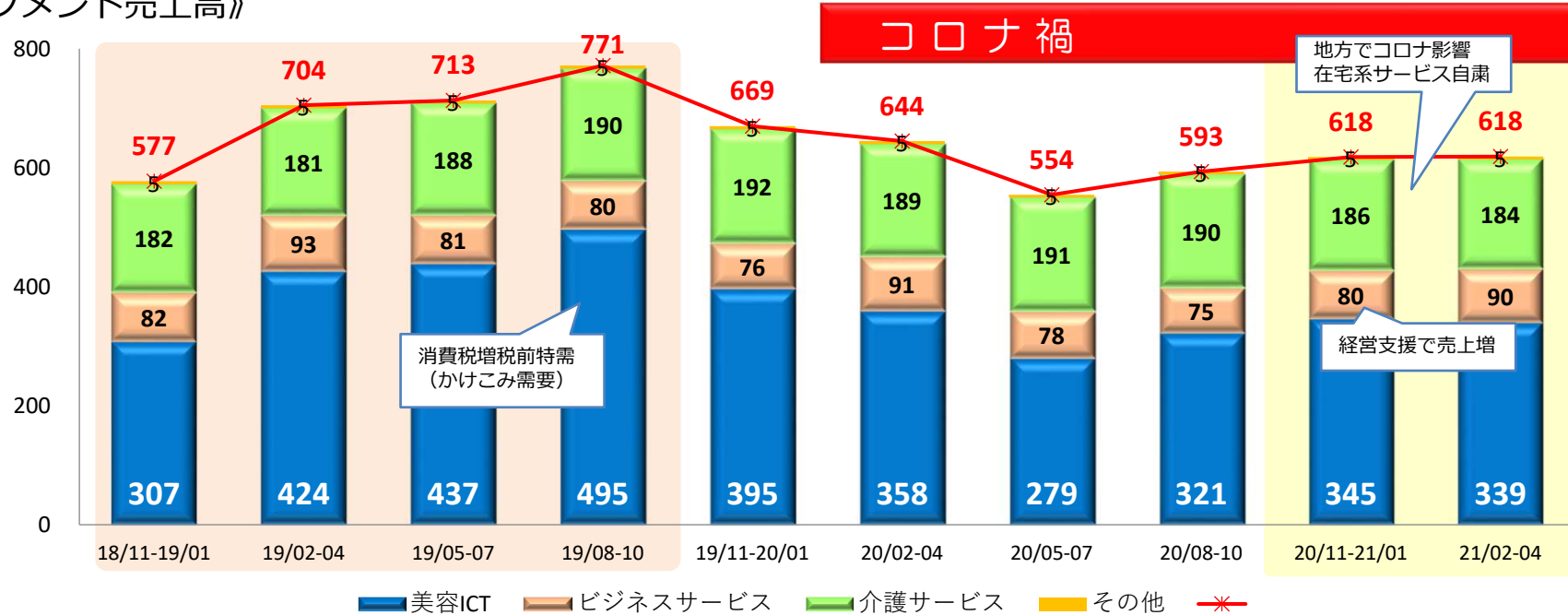
単位：百万円

	R元/10期 2Q実績	R2/10期 2Q実績	R3/10期 2Q実績	前期 増減率
美容ICT	24	39	52	32.5%
ビジネスサービス	14	4	19	338.2%
介護サービス	22	29	27	△5.8%
その他	7	7	6	-
	68	81	106	△31.5%



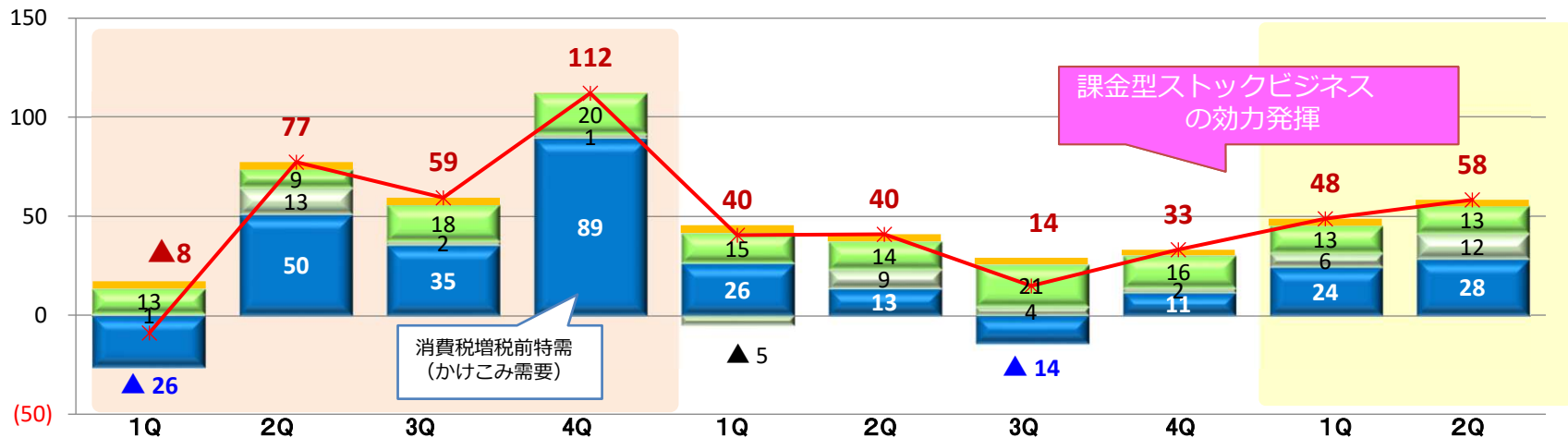
# セグメント別四半期推移 (Q on Q)

### 《セグメント売上高》



### 《セグメント利益》

《単位：百万円》



## 第2四半期連結決算（財務概要：前期比較）



単位：百万円

	R2/10期	R3/2Q	差異	差異要因
流動資産	1,942	1,908	△34	
現預金	1,574	1,544	△30	
売掛金	236	203	△32	
商品・仕掛品ほか	131	160	28	納品に伴う在庫確保・カスタマイズ仕掛増
固定資産	1,714	1,714	0	
有形固定資産	1,217	1,176	△41	土地売却・介護施設等の減価償却
無形固定資産	305	311	6	
ソフトウェア	95	77	△18	ソフト資産の償却
ソフトウェア仮勘定	126	159	32	
のれん	81	74	△7	のれん（VID社株式取得）償却
投資その他資産	192	226	34	投資有価証券取得（MHG資本業務提携）
資産合計	3,657	3,622	△34	

	R2/10期	R3/2Q	差異	差異要因
負債	1,463	1,339	△123	
流動負債	674	615	△59	
固定負債	788	724	△64	子会社（介護）借入返済、役員退職慰労金支給
純資産	2,193	2,283	89	
株主資本	2,193	2,280	86	自己株式売却
利益剰余金	1,904	1,957	52	営業活動による利益増、配当金支払による減少
資産合計	3,657	3,622	△34	



## 第2四半期連結キャッシュフロー



単位：百万円

項目	R2/102 Q	R3/10 2Q	要因
営業キャッシュ・フロー	△12	52	税金等調整前四半期純利益増 112百万円 売上債権の減少 32百万円 未払費用減少（GW前給与払）△81百万円 役員退職慰労金引当の減少 △22百万円 法人税等の支払額 △22百万円
投資キャッシュ・フロー	△46	△46	有形固定資産売却（土地） 31百万円 無形固定資産取得（ソフトウェア） △40百万円 投資有価証券の取得 △34百万円
財務キャッシュ・フロー	△69	△36	自己株式売却による収入 34百万円 ほか長期借入金返済（介護）・配当金支払い
現金及び現金同等物の増減額	△128	△30	
現金及び現金同等物の期首残高	1,492	1,574	
現金及び現金同等物の期末残高	1,364	1,544	



# 通期業績見通し

---

## 令和3年10月期



# 令和3年10月期 通期業績見通し（連結PL）



➤ 令和3年10月期業績見通し  
**売上高 26.4億円、経常利益 1.6億円**  
 （コロナ禍による影響が継続すると想定）

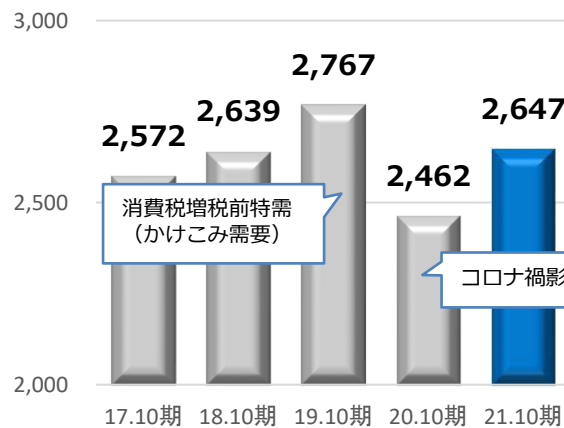
※) 当面の売上増加にすぐに直結しないが、  
 課金型ストックビジネスの累積増加  
 により、利益の大きな改善を見込む。

単位：百万円、%

	R元/10期		R3/10期			前年比 増減率
	実績	R2/10期 実績	第2Q累計	見通し	進捗度	
売上高	2,767	2,462	1,236	2,647	46.6%	7.5%増
営業利益	239	129	106	160	66.2%	24.4%増
（営業利益率）	8.7%	5.3%	8.6%	6.1%	-	-
経常利益	241	131	106	160	66.2%	22.1%増
（経常利益率）	8.7%	5.3%	8.6%	6.0%	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	160	71	81	95	85.2%	32.6%増

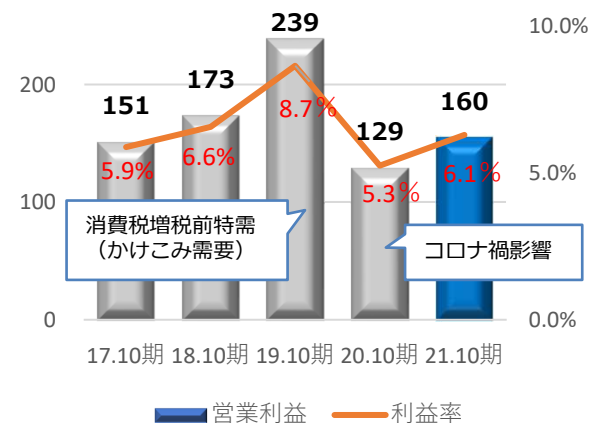
《連結売上高》

単位：百万円



《営業利益・利益率》

単位：百万円





# トピックス



## 理美容業界向け「DX」と「SDGs」の推進で提携

当社は、令和3年2月12日、株式会社エム・エイチ・グループ（東京都渋谷区、JQS：9439、以下MHG社）との間で資本業務提携を締結。

当業務提携は両社の企業価値向上に繋がるものであり、両社の長期的なパートナー関係の発展・強化のために、相互に株式を保有する形での資本提携が必要と判断。

- 当社は第三者割当による自己株式の処分を行い、当社普通株式 27,500株をMHG社が取得。
- MHG社は第三者割当増資による新株を発行し、MHG社の普通株式 160,000株を当社が取得。

### 《令和3年2月 資本提携契約の締結》



※) 本自己株処分により一定の希薄化をもたらすこととなりますが、本資本業務提携は、今後の当社の成長基盤を拡大させ、中長期的な企業価値の向上に資するものであり、株主利益の向上に繋がるものと考えております。



## ■ 株式分割（3分割）・配当の増配、株主優待の拡充

令和3年4月9日「株式分割、定款の一部変更、配当予想の修正（増配）、及び株式優待制度の実質拡充に関するお知らせ」参照

### 《株式分割を実施する理由》

当社株式は、発行済み株式数が182万株（うち自己株式35万株）と流通株式数が少ない上に、最低投資水準が約15万円と、投資家が株式市場での売買をしにくい状況にあります。

この状況を踏まえ、当社株式を1株につき3株の割合をもって株式を分割し、流通株式数を増やし、最低投資水準を約5万円に引き下げるものです。

本分割により、株式の流動性を高め、当社株式の株式市場での売買をしやすい環境を整えていきます。

	分割前	分割後（3分割）
発行済株式総数	182万株	546万株
1株あたり購入株価	1,500円※	500円※
投資単価（単元株100株）	150,000円	50,000円
配当案（増配）	20円	7円(分割前21円/増配)
株主優待（拡充）	100株以上株主：1,000円QUOカード	30,000株以上株主：特別美容商材 300株以上株主：1,000円QUOカード 100株以上株主：500円QUOカード※
配当・優待利回り （配当+優待）/投資株価	投：150,000円 配：2,000円・優：1,000円 利回り：2.0%	投：50,000円 配：700円・優：500円 利回り：2.4%

※）1株あたり購入株価は想定数値を記載。



■ 継続した株主配当の実施

財政状態・配当性向を勘案し増配：1株あたり20円→21円へ（分割前）

今回の株式分割に伴い、令和2年12月11日公表の「令和2年10月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の令和3年10月期の期末配当予想額を下記の通り修正いたします。

当期の連結業績はコロナ禍による影響はあるものの安定した業績の確保と事業の成長を継続することが予想されます。よって当期末配当は、当初の期末予想の株式分割前の株式1株あたり20円より1円増配し、株式分割前の株式1株あたり21円を予定しております。

なお、今回の株式分割に伴い、期末配当予想額を下記の通り1株あたり7円を予定しております。

	1株あたり配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想（令和3年10月期） （令和2年12月11日公表）	—	20円	20円
修正予想	—	7円 （分割前21円）	7円 （分割前21円）
前期実績	—	20円	20円

## ■ 株主優待制度の実質拡充。

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、当社株式をより多くの方に保有していただく観点から株主優待制度を導入しております。

当社では、毎年10月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式100株以上を保有されている株主様を対象に、クオカードを贈呈しておりました。

今回、普通株式1株につき3株の割合をもって分割することに伴い、株主優待制度を以下のとおり拡充して変更いたします。

具体的には、株式分割の前後で株主優待制度は次のとおりとなります。

現在の優待内容		3分割後改定案	
100株未満	該当なし	100株未満	該当なし
		100株～300株未満	QUOカード（500円相当）
100株以上	QUOカード （1,000円相当）	300株以上	QUOカード（1,000円相当）
		30,000株以上	美容商材詰合せ （3,000円～5,000円相当予定）





# 会社概要

---



TBCSCATは、ICTを活用し中小企業の経営をサポートするソリューション・カンパニーです。

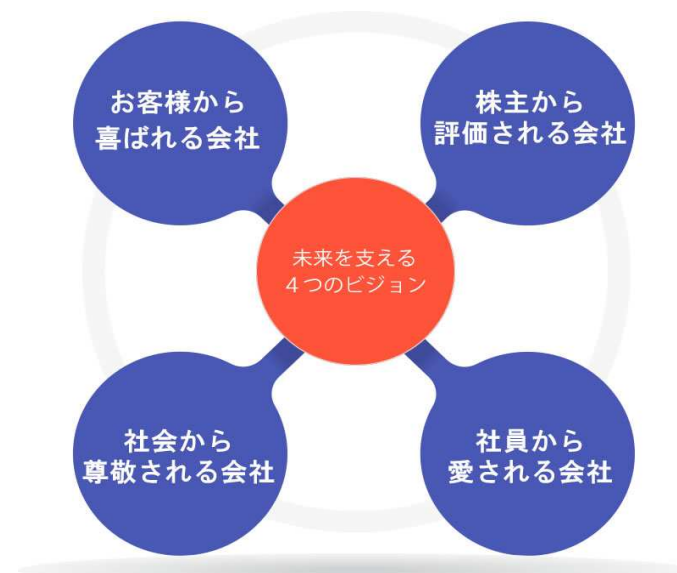
## 基本情報

名 称	株式会社ティビィシィ・スキヤット
設 立	1969年12月設立
資 本 金	2億円
代 表	代表取締役社長 長島 秀夫
小 山 本 社	栃木県小山市城東1-6-33
東 京 本 社	東京都中央区日本橋本町3-8-4
従 業 員 数	連結約211名 (2021年4月末)
売 上 高	連結24億62百万円 (2020年10月期)
事 業	美容サロン向けICT事業 中小事業向けビジネスサービス事業 介護サービス事業
子 会 社	TBCシルバーサービス株式会社 (介護) VID株式会社 (美容ICT)

## 使命・理念

ICT技術の提供による、中小企業への経営支援を通じた社会貢献

常に新しい商品、新しいサービスの開発に挑戦し、顧客の創造を事業目的とする。



TBCSCATは、継続して成長を続けるために、企業価値の向上を図ると共に、常に変化への対応が必要と考えております。



## 《本資料に関する注意》

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

### IRならびに本資料に関するお問合せ先

IR担当者： 執行役員 経営企画室 室長 高橋 栄

E-mail : ir@tbcscat.jp

電話 : 03-5623-9670

**株式会社 ティビィシィ・スキヤット**